

令和6年度日光市地域魅力創出のための 若者会議（NIKKOモソモソREKITSUKU会議） 活動報告会

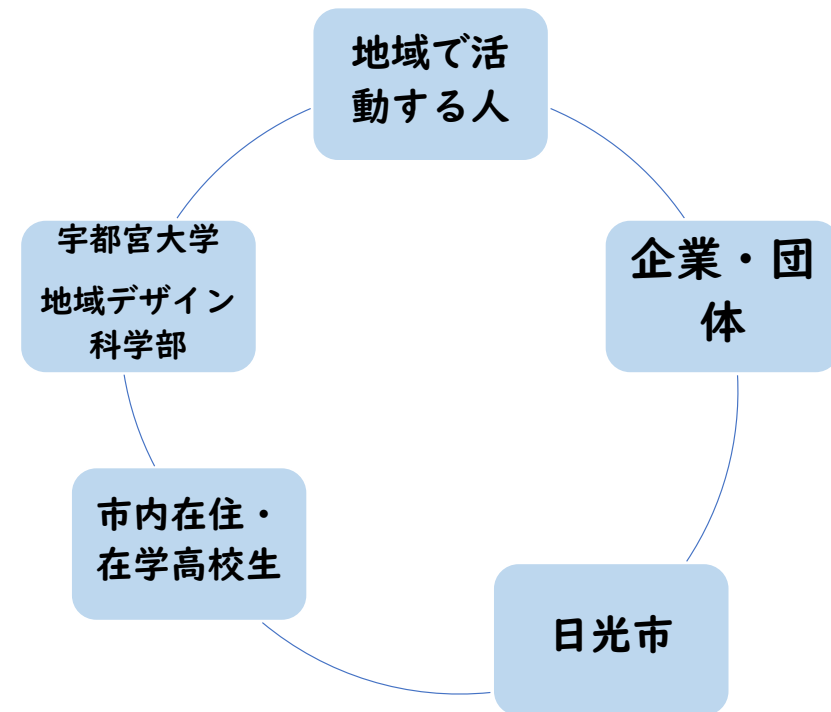
令和7年3月9日

日光市地域振興部地域振興課

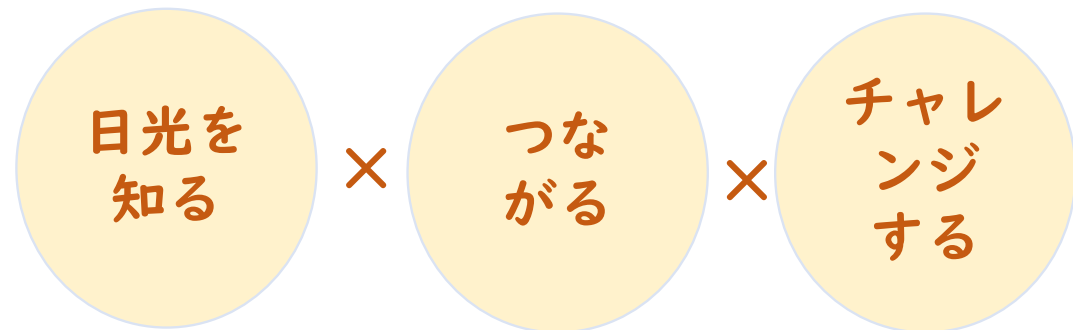
モソモソREKITSUKU会議（地域魅力創出のための若者会議）とは

令和4年3月29日、**高校生の地域への愛着心向上を目的に設置しました。**

高校生と大学生が、地域で活動している大人や団体のみなさんと関わりながら、日光のミライをモソモソ、妄想して、日光のミライ（歴史）を創るプロジェクトです。



- 日光市 拠点となる参加の場、安心して活動できる場を提供
- モソモソREKITSUKUの活動をととして
「どこに住んでいても日光を誇りに思い、その想いを行動、発信
できる人（地域推奨意欲の醸成）」を増やしていく。



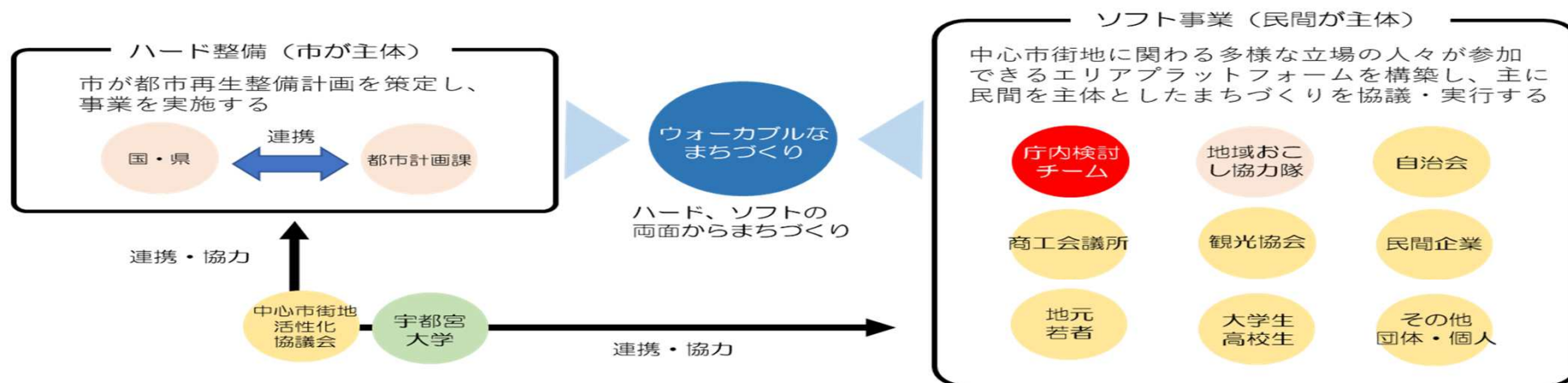
令和6年度活動

「**つながり**を増やし、
みんなと**対話**、地域と**交流**」

令和6年度モソモソREKITSUKU会議 プロジェクト～全員で～

まちなかりバースプロジェクト

今市中心市街地を「まちを歩きたくなる」「人が集まる」を創る取組



	R5	R6	R7	R8	R9～R13	R14～
ソフト事業	庁内検討チームによる 取組検討、社会実験実施		エリアプラットフォーム構築 ・ 未来ビジョン作成		未来ビジョンに基づく事業実施・収益化 (事業を長期的に継続)	
ハード整備	立地適正化計画変更		都市再生整備計画策定	事業許認可申請	事業実施	

モソモソREKITSUKU会議 情報発信
Instagram “nikko_rekitsu”



令和6年度モソモソREKITSUKU会議 プロジェクト～チームで～

幼稚園・保育園で、子どもたちが遊ぶ
「日光ご当地カルタ」をつくる



民間事業者企画によるアイデア創出
「Nikko玉みくじ」



令和6年度活動のあゆみ 「キックオフ」

2024年8月27日



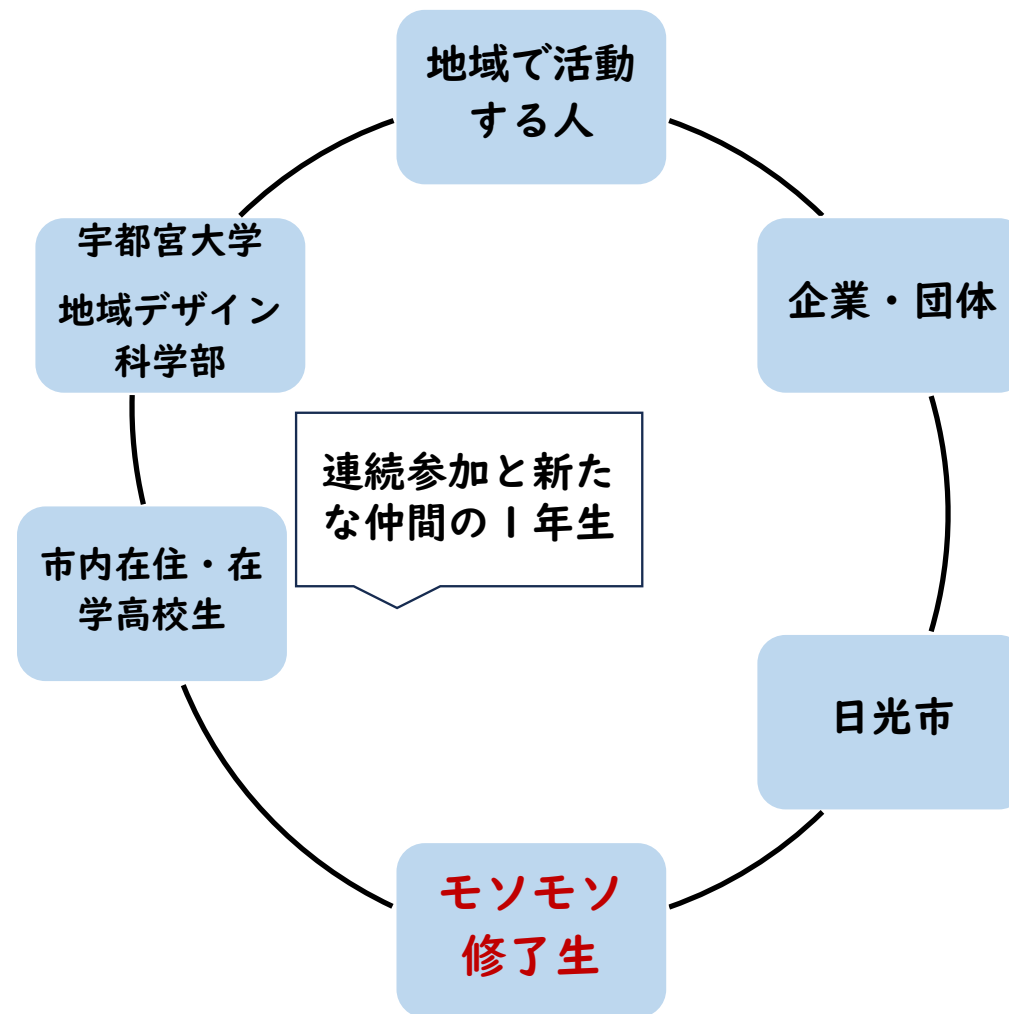
□アイスブレイク

- ・自己紹介と共有
- ・うろ覚えカード（「ドラえもん」「イオン」「ローソン」）

□モソモソ概要説明、プロジェクト提案

- グループワーク：プロジェクトを聞いて「面白い」「自分がやりたいこと」「疑問」など

「つながり」



「地域と交流」

2024年11月6日第2回プロジェクト

「まちあるき」

道の駅日光ニコニコ本陣～plus stitch NINNO～二宮神社～如来寺～会津西街道散策～日光みそのたまり漬 上澤梅太郎商店～ふくろうの森 手塚登久夫石彫館～



「まちあるき」



「みんなで対話、地域と交流」

2025年1月6日第4回プロジェクト

「日光ご当地カルタ」チーム

- 市立並木保育園の先生に、0歳から6歳の園児のカルタ遊びの様子を伺いました。園児がカルタを「かじる」ことを教わりました。
- 宇都宮大学地域デザイン科学部の皆さんはオンラインで参加しました



「みんなで対話、地域と交流」

2025年2月24日第7回プロジェクト

「Nikko玉みくじ」チーム

東武日光駅前のゲストハウス「澄み家」を訪問し、Nikko玉みくじの利用状況をヒアリングし、外国の宿泊客と交流しました。



「広報 にっこう11月号特集」～創ろう、日光のミライ!～

広報 にっこう

NIKKO

No.236/2024. **11**

Nikko City Information Magazine



特集

創ろう、日光のミライ!

高校生が考える地域づくり

刺激的で魅力ある出会い

「地域のことをもっと知りたい」という思いをずっと持っていたので、1年生の時から会議に参加しています。活動を通じて、他校の生徒や地域の方々との出会いがあるところが、とても刺激的で魅力を感じています。



今市高等学校2年
ひろうちり
廣内 理乃さん

私は昨年、「日光郷土クイズ」作りに取り組みました。クイズの内容を考えるために、インターネットで調べるだけでは情報が偏ってしまうので、図書館や歴史民俗資料館にも足を運んだのがとても大変でした。市内で開催されたイベントで、多くの人にクイズを披露したときには達成感がありました。クイズが会話のきっかけとなって、幅広い世代の人の交流が生まれるといいなと思っています。

今後は、積極的に自分のアイディアを出して、日光を盛り上げられるような企画を考えたいです。そして、私たちの活動の輪がもっと広がってほしいです。

カルタに込めた日光への思い

「日光ご当地カルタ」は、メンバーはもちろん、先輩方の協力もあって完成しました。学校が終わった後に、市役所で夜遅くまでカルタ制作に没頭し、絵札のネタ(日光の魅力)を探しつつ、読み札の文章を考えるのが特に大変でしたが、振り返ると全部含めていい思い出です。

日光が地元ですが、カルタを通じて自分も知らない日光を知ることができました。日光を離れて暮らしている大人の方々が、ご当地カルタで日光のことを思い出して、いずれ故郷に戻ってきてくれる。そんな「ミライ」を思い浮かべています。

「若いうちは何でもできる。積極的に活動してほしい」。まち歩きで出会った地域の方々の言葉が、とても印象に残っています。これから若者のパワーを発揮し、メンバー丸となって地域づくり活動に貢献できるようになりたいです。



今市高等学校3年
しんご
芳田 奏太さん

創ろう、日光のミライ!

モソモソREKITSUKU会議



ロゴマーク

作：大島美幸さん
(令和4、5年度の修了生で、現在はメンターとして活躍中!)

日光を知る × つながる × チャレンジする

くわしくは 地域振興課 地域政策係 ☎0288-21-5147

若者目線の地域づくり
会議では、高校生と大学生が「自分ごと」として関われるまちづくりに関するテーマを設定し、ワークショップとフィールドワークの実践型プログラムを通して、日光に関心と愛着を深めていきます。会議のキーワードは「日光を知る」「大人たちとつながる」「日光でチャレンジする」の3つで、地域との積極的な交流を図ります。そして、進学や就職を機

「あなたちは今、どんな「日光の未来」を思い浮かべていますか? 10年後、50年後、日光はどんな場所になっているでしょうか。そんな未来を考え、地域の魅力を発掘するプロジェクトが市内で始まりました。その名も「地域魅力創出のための若者会議(モソモソREKITSUKU)会議」(以下、会議という)。市が令和4年度に設置したこの会議には、日光で生まれ育った若者や市内の高校生が参加し、市の特性を生かした個性で魅力ある地域づくりに取り組んでいます。

に転出した若者が「ここに住んでいても日光を誇りに思い、その想いを発信できる人」になることを期待しています。今年度は会議のさらなる活性化を目指し、メンバー自身で活動内容を企画して、互いに刺激し合えるよう、「実践力」「行動力」を高める活動を行っています。



日光のミライを一緒に考えてみませんか?

対象：市内に住まはたは通学している高校生、市に興味のある高校生
活動場所：道の駅日光、市役所ほか市内

大学生が活動をサポート

高校生のメンター(助言者)として、宇都宮大学と連携しており、フィールドワークの伴奏支援など、活動をサポートしています。また、今年度から、会議で活動した「卒業生」もメンターとして活躍しています。

ご清聴ありがとうございました

chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp